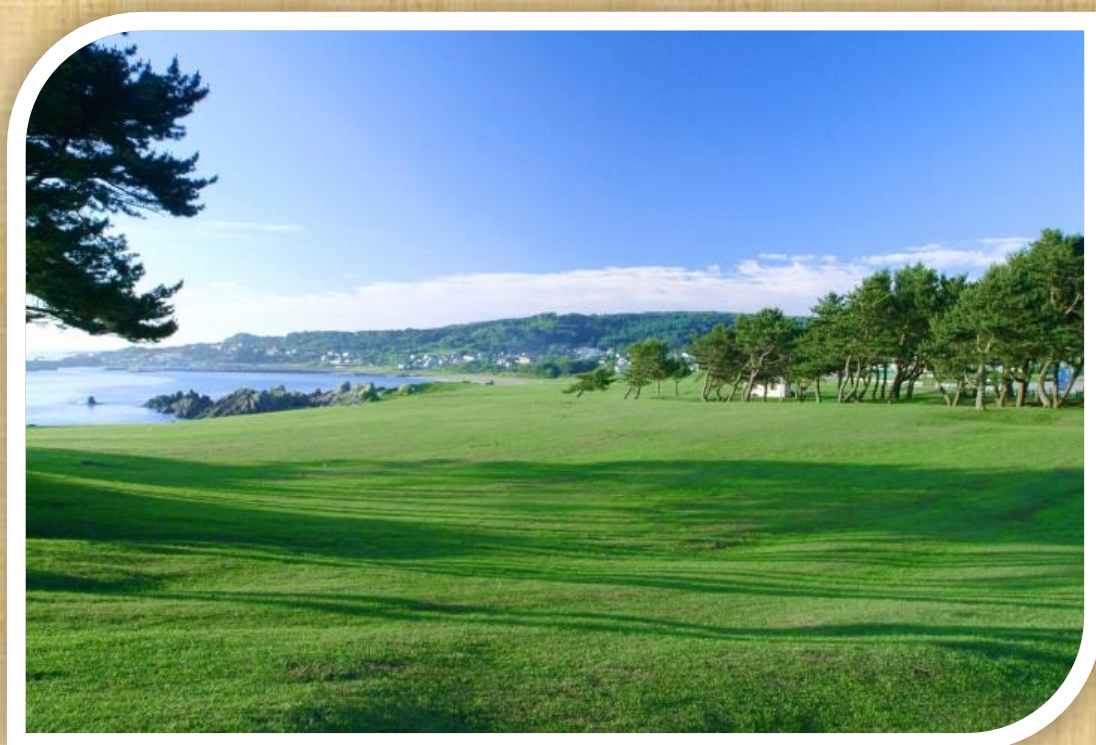


エコアクション21

株式会社 伊藤建設工業

環境経営レポート 令和5年度

令和5年9月～令和6年8月



作成日 令和6年10月2日

目次

環境経営方針・・・・・・・・	1～2
組織の概要・・・・・・・・	3
EA21実施体制図・・・・・・・・	4
環境目標とその実績・・・	5
環境目標の設定・・・・・・・・	6
環境目標の実績・・・・・・・・	7
環境活動計画・・・・・・・・	8
環境活動の状況・・・・・・・・	9
法規・全体評価・・・・・・・・	10

株式会社伊藤建設工業 環境経営方針

※基本理念※

株式会社伊藤建設工業は、「建設業に係る事業を通じて社会に貢献する」企業理念のもと、地球環境を守るための環境に配慮した工事と環境の保全社会に貢献することを目指してきました。

今後も、経営における課題とチャンス进行明確化し、環境への負荷の低減とその保全活動を継続的改善し、積極的に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1.自然環境への影響

※エネルギー使用の改善提案から課題を発見し、チャンスと捉えて低減に努め、二酸化炭素等の温暖化ガスの排出抑制の改善及び効率化を図ります。

2.資源・エネルギーの効率化と合理化への取組み

※建設工事等においては原材料使用の効率化・合理化に取り組む、建設廃棄物等の発生の抑制に努め、資源の有効な利用を促進してまいります。

3.循環型社会への形成

※生命にとって必要不可欠な水資源の効率的な利用に努め、水の恵みを持続的に受けられるように適正な水利用・排水管理の推進に努めてまいります。

4.汚染の予防

※使用する原材料に含まれる化学物質の把握・管理に努め、環境汚染や健康への影響の少ないより安全な資材の利用を推進してまいります。

5.グリーン商品購入の促進

※環境に配慮されたグリーン商品の利用を推進すると共に、お客様へのご提案推奨にも取り組んでまいります。

6.環境負荷の低減への継続的改善

※エコアクション21の取組みにより環境経営への取組みの継続的な改善を図り、活動の質の維持・向上に努めます。

7.環境関連法規制等の厳守

※環境関連法規制等の定期的な確認を行い、関係事項を明確にして法令の順守に努めてまいります。

8.地域貢献

※工事現場付近でのボランティア活動に積極的に参加し、社会とのコミュニケーションを図ってまいります。

9.環境方針の周知

※環境方針は、全ての社員へ周知し、継続的な教育・訓練を行うとともに、全社員が積極的に環境活動に取り組んでまいります。

制定日 平成25年9月1日

更新日 令和1年9月1日

更新日 令和2年9月1日

株式会社伊藤建設工業

代表取締役 大山 進

対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsNo.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		寄付、環境教育
2	飢餓をゼロに		寄付、環境教育
3	すべての人に健康と福祉を	○	健康経営
4	質の高い教育をみんなに		外国人技能実習生雇用、資格取得支援
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	節水、井戸水使用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	ごみ分別の徹底、カーボンオフセット
8	働きがいも経済成長も		障害者雇用、同一労働同一賃金
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		ICT活用
10	人や国の不平等をなくそう		外国人技能実習生雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、ボランティア活動
12	つくる責任 つかう責任	○	グリーン購入、再資源化促進
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		海岸清掃ボランティアへの参加
15	陸の豊かさを守ろう		森林育成活動
16	平和と公正をすべての人に		コンプライアンス研修会への参加
17	パートナーシップで目標を達成しよう		環境教育

組織の概要

1 名称及び代表者名

株式会社 伊藤建設工業
代表取締役 大山 進

2 所在地

本 社 青森県八戸市石堂二丁目1番32号
TEL 0178-29-1081 FAX 0178-29-0990

機材センター 青森県八戸市大字市川町字壁取下55-7
FAX 0178-52-6521

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 加藤 剛、菊池 駿
担当者 環境事務局 三田 誠
連絡先 青森県八戸市石堂二丁目1番32号
TEL 0178-29-1081 FAX 0178-29-0990

4 事業活動の内容

- 土木工事業
- 舗装工事業
- 水道施設工事業
- 管工事業
- 貨物自動車運送事業

5 事業規模 令和5年度(令和5年9月～令和6年8月)

資本金	4,500万円
売上高	694百万円
従業員	37名
敷地面積	870.77㎡
延べ床面積	283.40㎡
機材センター	6877.00㎡

6 事業年度 令和5年度

令和5年9月～令和6年8月

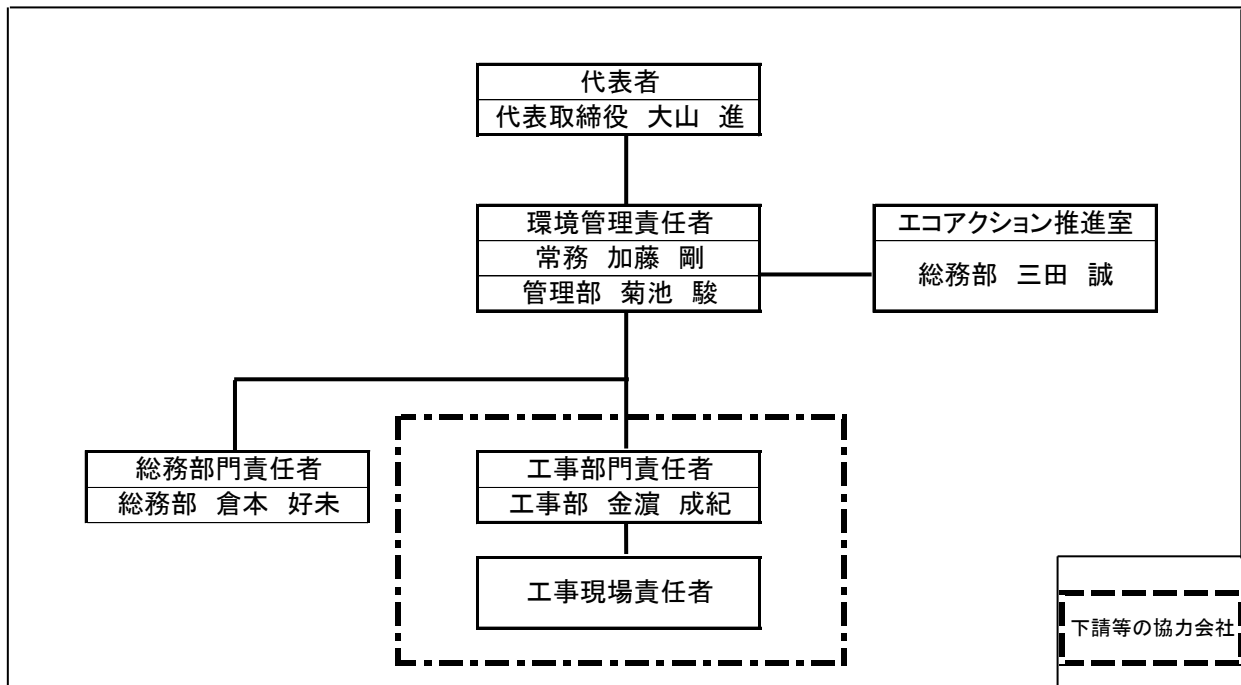
7 登録組織(認証・登録範囲)

株式会社伊藤建設工業の全組織、全活動を対象範囲とします。

8 レポートの対象期間

環境活動レポートの対象期間は令和5年9月～令和6年8月迄の期間です。

株式会社 伊藤建設工業 EA21実施体制図（令和5年度）



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者 代表取締役	①環境経営に関する責任と権限を持つ。 ②環境経営システムの実施に必要な経営資源を準備。 ③環境管理責任者を任命。 ④環境方針の決定。 ⑤経営における課題とチャンスの明確化 ⑥全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、実施、管理。 ②問題点の是正、予防処置の指示・確認。 ③環境経営システムの実施状況について代表者への報告。
Ecoアクション推進室	①環境管理責任者の補佐、Ecoアクション21の事務局。 ②環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ③環境活動チェック表等の実績集計。 ④環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
各部門責任者及び現場責任者	※所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 ①環境方針の部内への周知。 ②教育訓練の実施。 ③環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ④緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練実施、記録の作成。 ⑤問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	①環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

当社は、主に土木、舗装、水道工事を中心とする建設業であり、事業活動に伴い発生する環境負荷については、表1の通りです。

二酸化炭素排出量については、建設現場の建設機械、運搬車両等によるものが主な発生要因となっている。

表 1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg－C O ₂	758, 746	571, 856	518, 951
一般廃棄物排出量	kg	1, 026	1, 116	1, 258
産業廃棄物排出量	t	4, 039	4, 732	3, 703
水資源投入量	m ³	130	200	259
化学物質使用量	k g	1. 05	1. 26	0. 74
グリーン購入量	件	4	4	4
環境配慮型商品サービス	件	－	－	－
地域貢献活動	件	5	5	5

主な工事・業務等の種別	工事件数	環境配慮事項	使用建機等
土木工事	40件	機器の運搬による温暖化ガスの発生、機器の使用による騒音・振動の発生等	路面切削機、バックホウ、4tダンプトラック
水道施設工事	7件	機器の運搬による温暖化ガスの発生、機器の使用による騒音・振動の発生等	バックホウ、4tダンプトラック
舗装工事	23件	合材の運搬による温暖化ガスの発生、機器の使用による騒音・振動の発生等	フィニッシャー、スカダムローラー、タイヤローラー、バックホウ

環境目標の設定

表 2. 1 環境目標（全体）

・目標値は、基準値に対する削減率

項目	環境目標	基準（令和3年度）		単年度目標			中長期目標
		単位	基準値※	令和6年度	令和7年度	令和8年度	R6～R8年度
1. 二酸化炭素排出量	電力の削減	kWh	17,547	削減率5%	削減率6%	削減率7%	削減率7%
	灯油の削減	L	8,759	削減率4%	削減率5%	削減率6%	削減率6%
	LPGの削減	kg	1,668	削減率4%	削減率5%	削減率6%	削減率6%
	ガソリンの削減	L	22,663	削減率4%	削減率5%	削減率6%	削減率6%
	軽油の削減	L	288,690	削減率4%	削減率5%	削減率6%	削減率6%
	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	833,828	削減率4%	削減率5%	削減率6%	削減率6%
2. 廃棄物排出量	ごみの削減	kg	1,526	削減率3%	削減率4%	削減率5%	削減率5%
	再資源化率の増加	%	99	99%	99%	99%	99%
3. 水資源投入量	節水	m ³	150	削減率3%	削減率4%	削減率5%	削減率5%
4. 化学物質使用量	化学物質の管理推進	kg	0.86	削減率3%	削減率4%	削減率5%	削減率5%
5. グリーン購入	事務用品等環境物品の購入	件	4	4件	4件	4件	4件
6. 環境配慮型商品サービス	環境に配慮した施工の推進	件	—	—	—	—	—
7. 地域貢献活動		件	5	5件	5件	5件	5件

※購入電力の排出係数はH29.12.21.環境省・経済産業省公表の東北電力㈱の調整後

排出係数0.548を使用しました。

環境目標の実績

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(全体)

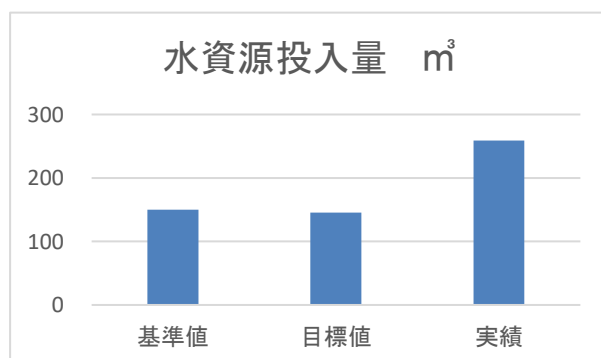
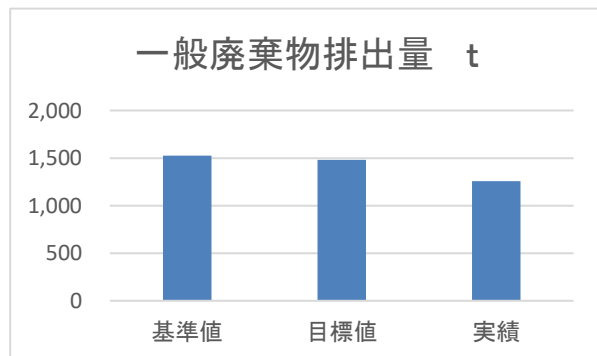
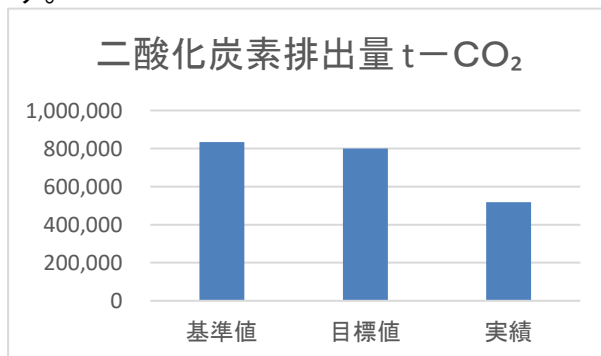
項目	単位	基準値	令和5年度			環境目標の達成状況
			削減率	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	833,828	4%	800,475	518,951	達成
①電力使用量	kWh	17,547	5%	16,670	26,562	未達成
②灯油使用量	L	8,759	4%	8,409	4,921	達成
③LPG使用量	kg	1,668	4%	1,601	922	達成
④ガソリン使用量	L	22,663	4%	21,756	11,778	達成
⑤軽油使用量	L	288,690	4%	277,142	172,270	達成
2. 一般廃棄物排出量	kg	1,526	3%	1,480	1,258	達成
3. 建設リサイクル率	%	99	99%	99	100	達成
4. 水資源投入量	m ³	150	3%	146	259	未達成
5. 化学物質使用量	kg	0.86	3%	0.83	0.74	達成
6. グリーン購入	件数	4	-	4件	4件	-
7. 自らが施工等する製品・サービス	件数	-	-	-	-	-
8. 地域貢献活動	件数	5	-	5件	5件	-

当社では、事務所及び建設現場など別に環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。
今回は、エコアクション21を開始した令和5年9月から8月までの実績についての評価結果を報告いたします。

電気使用量については、環境目標を未達成であった。

電気使用量については基準値を上回ってしまいました。

また、二酸化炭素排出量は状況に左右されやすい為、引き続き監視と対応に取り組んでいく所存です。



環境活動計画（主な活動内容）

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況 の評価	取組み結果	次年度の目標及び取組内容
二酸化炭素 排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①未使用の部屋の消灯励行	×	待機電力の見直し・細目にスイッチオフに呼び掛け合う様等したが拠点が多く効果の程は薄かった。	(次年度の目標) 基準値17547 削減率6% 目標値16494 (次年度の取組内容) ・自然エネルギー等の導入も検討して行く。
		②電気機器の夜間、休日の主電源の停止			
		③ブラインド等の使用による熱の出入りの調整			
		④照明器具の定期的な清掃、交換			
		⑤季節に合った服装、クールビズ・ウォームビズの励行			
	建設機械等の燃料の二酸化炭素削減	①定期点検、整備の実施	○	焦りで急ぎがちになってしまう運転をしない為に余裕を持つての5分前行動に心掛けさせる様、活動の推進に努めている。	(次年度の目標(ガソリン・軽油順)) 基準値22663, 288690 削減率5%、5% 目標値20983, 274256 (次年度の取組内容) ・エコドライブ、アイドリングストップを徹底する。
		②エコドライブの実施			
		③アイドリングストップの実施			
		④効率的な運行計画の実施			
		⑤積載量の遵守			
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①冬季以外の給湯器の使用抑制	○	朝礼等での呼びかけにより活動計画は推進されている。	(次年度の目標(灯油・LPG順)) 基準値8759, 1668 削減率5%、5% 目標値8321, 1585 (次年度の取組内容) ・建設現場での使用量が多く、現場での作業の効率化や呼びかけの取組を強化する。
		②冷暖房の適温化(冷房 28° C / 暖房 20° C)			
		③作業停止時の機器の停止			
		④機器への過剰負荷の回避			
		⑤効率的な作業計画の実施			
廃棄物排出 量削減	廃棄物の発生抑制	①廃棄物処理について教育・指導を図り意識啓発に努める	○	活動内容等の社内掲示、指導により意識啓発は促進されている。	(次年度の目標) 基準値1526 削減率4% 目標値1465 (次年度の取組内容) ・購入商品の検討、過剰包装への取組を進め発生抑制を図る。
		②発生状況を把握し減量化への取り組みの強化を図る			
		③文書の電子化によるペーパーレス化の推進			
		④両面、割り付け印刷等によるコピー用紙の使用量の抑制			
		⑤簡易包装商品の購入			
	リサイクルの促進	①処理業者との情報共有を図りリサイクル率の向上に努める	○	廃棄物の分別によりリサイクル化が推進されている。	(次年度の目標) 基準値99 削減率- 目標値99 (次年度の取組内容) ・リサイクル可能商品、資材の使用を推進し、効率的な分別に取り組む。
		②3Rの推進に向けた組織の体制構築・強化に努める			
		③資材に関する情報を把握し効率的な資材使用に努める			
		④再生・再利用可能な原材料の利用に努める			
		⑤廃棄物のリサイクルのための効率的な分別に努める			
	産業廃棄物等の適正処理	①処理業者との情報共有を図り効率的な処理に努める	○	処理業者、処理方法の確認等により適正処理が推進されている。	(次年度の目標) 基準値- 削減率- 目標値- (次年度の取組内容) ・今後は処理方法の確認も行い最終処分の減量化にも取り組む。
		②定期的に廃棄物管理票の確認を行う			
		③廃棄物の保管状況の確認を行う			
		④委託業者の施設及び処理状況等の定期的な確認を行う			
		⑤定期的に関連法規制等に関する確認を行う			
総排水量 削減	節水	①水利用に関する意識啓発に努める	×	活動内容等の社内掲示等により活動の推進に努めたが抑制には至っていない。	(次年度の目標) 基準値150 削減率4% 目標値146 (次年度の取組内容) ・日常の水使用に関する意識啓発に努め使用抑制に取り組む。
		②トイレ水の使用量の抑制に努める			
		③予め汚れを落とす等により洗車時の水使用量の少量化を図る			
		④井戸を掘ることにより節水に努める			
		⑤			
	排水処理	①使用水の複数回利用による使用量の低減	○	活動内容等の社内掲示等により活動の推進に努めている。	(次年度の目標) 基準値- 削減率- 目標値- (次年度の取組内容) ・日常の排水処理に関する意識啓発に努め使用抑制に取り組む。
		②水とりネットを利用し残渣の混入を防ぐ			
		③環境影響の少ない洗剤等の使用			
		④			
		⑤			
化学物質の管理推進		○	使用頻度もそれほど高くなく、環境に著しく影響する化学物質の排出はありません。	(次年度の目標) 行動目標 ・科学物質を適正に管理し、定期的に確認する (次年度の取組内容) ・取組を継続する。	
①化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的に確認する					
②化学物質の把握と使用頻度の把握					
③安全データシートなどによる情報収集					
グリーン購入	環境に配慮した物品等の購入、使用等	④必要最小限の使用量とし、保管は、原則行わない	○	使用商品に関する検討、選択が推進されている。	(次年度の目標) 行動目標 ・環境に配慮した事務用品等購入・使用を推進する (次年度の取組内容) ・使用、購入商品等の原材料、製造方法の確認を推進する。
		①環境や人への影響の少ない商品の利用			
		②資源やエネルギー消費の少ない商品の利用			
		③廃棄時に処理、処分の簡易な商品の利用			
		④使用期間の長い耐久性の高い商品の利用			
自らが施工等する製品・サービス	環境に配慮した施工の推進	⑤	○	自社による見直しをした結果、工程会議を行い施工方法を工夫したりしている。	(次年度の目標) 行動目標 ・環境に配慮した施工や作業を推進し、定期的に確認する (次年度の取組内容) ・取組を継続するとともに、環境にやさしい施工や工法の採用など提案推進に向け社内での検討の強化を図る。
		①周辺の自然環境への影響を最小限に抑える環境に配慮した施工方法・計画の提案を推進する			
		②建設機械は、過剰な負荷をかけない、停止中はエンジンを切る			
		③現場周辺の生活環境に影響の少ない時間帯、施工方法や作業方法での施工			
		④低騒音・低振動型建設機械等の使用等により、騒音・振動を防止するとともに、日常的な見回りを実施する			
・社会貢献 ・その他		⑤現場周辺へ粉じん・土砂などの飛散・流出防止に努める	○	さまざまな活動への取り組み強化が必要。	(次年度の目標) 基準値- 削減率- 目標値- (次年度の取組内容) ・社内での検討を進め取組の内容について具体化を進めて行く。
		①ホームページ、地域活動等を通じ環境活動に関する情報の発信に努める			
		②外部からの環境に関する意見聴取を定期的に行い、環境への取組の参考にする			
		③地域の環境活動、ボランティア活動に積極的に参加し、交流・支援に努める			
		④			
		⑤			

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

環境活動の状況



地域ボランティア活動風景①



地域ボランティア活動風景②



社内への周知実施



設定温度確認、エコの目安表示



ソーラー工事灯などの選定①



ソーラー工事灯などの選定②



環境に適した重機の選定①



環境に適した重機の選定②

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反訴訟等の有無

環境関連法規等に関して遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

住民等からの苦情、行政からの指導、訴訟もありませんでした。

今後もこのように、違反及び、苦情のないよう会社を上げて取り組んでいきたいと思います。

環境関連法規則(環境法規等遵守チェックリストより抜粋)

法規制	環境活動	遵守状況
建設リサイクル法	リサイクル法	○
廃棄物処理法	分別廃棄と資源リサイクルの実施	○
騒音規制法	騒音測定	○
振動規制法	振動規制基準	○
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検	○

代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21への取り組みにより、従業員の環境保全に対する

意識向上が日に日に高まってきたことを常々実感しております。

毎年度指摘を受けたところをしっかりと見直し、見直すだけではなく改善、進歩を

目標に掲げ、努めてまいりました。

今後も社内教育と意識を高めていくよう、初心にかえり新たに次年度からも

更なる進歩を目標に努めてまいります。